

インドネシアから研修員が訪れました R6.6.5

6月5日、JICAを通じてインドネシアから10名の研修員が訪れました。

当事務所では天竜川の河川・砂防・ダム事業の紹介に加え、現在進めている河川整備計画変更に係る説明や流域治水の考え方を紹介しました。研修員の方は、国と地方の協働について関心を持たれ質問され、資金負担や技術交流等についての説明を熱心に聞いておられました。

「いろんな事例があることをお聞きした。洪水のマスタープランを作成するにあたり課題があるが、それを解決する取り組みを紹介いただいたので役立てたい」

「天竜川の上流から下流まで洪水対策をとられていると感じた」などの感想が聞かれました。



インドネシアでの勤務経験がある吉田所長が現地語で挨拶する場面も！インドネシアと日本の技術交流についてのお話もありました。



JICAの研修員受け入れによる、日本国内15日間にわたる「事前防災投資に向けた洪水マスタープランコース」の一環